

# 平成29年度事業報告書

(平成29年4月28日から平成30年3月31日まで)

(特定非営利活動法人の名称)

特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンター

## 1 事業実施の成果

中間支援センター、中間支援センター職員のスキルアップ支援を当初計画どおり実施できた。データベースソフトウェアの切り替えを8月よりでき、その後の業務も円滑に進んでいる。中間支援センター職員の相談対応力も徐々に上がってきている。社会課題を解決する協働提案のプレゼンがきっかけで、NPO法人へのホームページ作成支援を行った。センタースタッフも同席してもらい、情報発信支援力アップを行うことができた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
ソフトウェア導入環境整備支援事業	県域中間支援センターにクラウド型データベースソフトウェア導入および環境整備を支援した。	H29.8より	県域中間支援センター内	5	5
NPO法人支援者育成事業	1. シニアによるシニアのためのLine cafeを実施し、センタースタッフにボランティア体験の場を提供した。	H30.1.14	新前橋福祉センター	3	3
	2. 社会課題を解決する協働提案をおこなった。	H30.1.19	高崎商工会議所	1	90
	3. NPO法人にホームページ作成支援を通じ、センタースタッフに情報発信支援スキルアップをおこなった。	H30.2.28	NPO・ボランティアサロンぐんま	1	3

## 3 会議の開催に関する事項

(1) 総会 なし ※設立総会は平成29年1月16日(月)17:00~19:00

(2) 理事会 電磁的な理事会は  
9/20 社会課題を解決する協働提案応募について  
データベースソフト提供についての報告

11/23 line café 実施について

3/30 ICT 活用サービス活用自慢大会申請について

事業名	ソフトウェア導入環境整備支援事業
実施概要	県域中間支援センターに salesforce 導入の支援を行った。
成果	H29 年 8 月より支援センターの相談、セミナー参加者等の入力が可能となった。データベースソフトの切替ができ、センター業務も円滑に進んでいる。
課題	Salesforce のバージョンアップによる、対応があるので、それはセンター職員に任せるようにしていきたい。
備考	

事業名	NPO 法人支援者育成事業
実施概要	<p>1. シニアによるシニアのためのLinecafeを実施し、センタースタッフにボランティア体験の場を提供した。H30.1.14 新前橋福祉センター 3名参加 支援者3名 合計6名</p>  <p>2. 社会課題を解決する協働提案をおこなった。H30.1.19 高崎商工会議所 プレゼン企画書作成 リハーサル 県庁会議室 H29.12.20 プレゼン 打ち合わせ 資料作成 手直し</p> <p>3.NPO 法人にホームページ作成支援を通じ、センタースタッフに情報発信支援スキルアップをおこなった。H30.2.28 NPO・ボランティアサロンぐんま 協働提案で出会った NPO 法人から HP 作成支援の申し込みがあり対応した。</p>
成果	支援者に NPO 法人のボランティア活動を体験してもらうことができた 小規模法人の設立、運営、会計を実践的に学んでもらうこともできた。
課題	通年を通じて行う会計等は忘れないが、設立や事業報告書は 1 回、または年 1 回なので、覚えてもらうまでには何年か繰り返すことが必要である。
備考	

## 活動計算書

2017年 4月 28日 ～ 2018年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	104,000	104,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	10,000	10,000
3. 受取助成金等		0
4. 事業収益		0
5. その他収益		0
経常収益計		0
<b>II 経常費用</b>		114,000
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	160	
その他経費計	160	
事業費計		160
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
地代家賃	5,000	
印刷製本費	4,900	
支払手数料	1,200	
消耗品費	317	
諸謝金	10,000	
雑費	2,988	
その他経費計	24,405	
管理費計		24,405
経常費用計		24,565
当期正味財産増減額		89,435
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		89,435

### 財務諸表の注記

- 重要な会計方針  
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

法人名： 特定非営利活動法人 市民立ぐんまNPOセンター

## 貸借対照表

2018年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	89,435		
流動資産合計		89,435	
<b>2. 固定資産</b>			
固定資産合計		0	
<b>資産合計</b>			89,435
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
流動負債合計		0	
<b>2. 固定負債</b>			
固定負債合計		0	
<b>負債合計</b>			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		89,435	
<b>正味財産合計</b>			89,435
<b>負債及び正味財産合計</b>			89,435

法人名： 特定非営利活動法人 市民立ぐんまNPOセンター

## 財産目録

2018年 3月 31日現在


(単位:円)

科 目・摘 要	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
現金	64,435		
群馬銀行	25,000		
流動資産合計		89,435	
<b>2. 固定資産</b>			
固定資産合計		0	
<b>資産合計</b>			89,435
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
流動負債合計		0	
<b>2. 固定負債</b>			
固定負債合計		0	
<b>負債合計</b>			0
<b>正味財産</b>			89,435

## 監査報告書

2018年 4月 1日

特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンター  
代表理事 草場 史子 様

監事 田中 一雄 

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンターの2017年度（2017年4月28日から2018年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行いました。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会への出席及び電磁的連絡の場において必要と認める場合には質問を行いました。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務執行は法令、定款及び2017年度の事業計画に基づき適正に執行され、会計処理はNPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改訂 NPO法人会計基準協議会）に準拠して適正に処理されているものと認められました。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンターの2018年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況、及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認められました。

以上

# 平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(特定非営利活動法人の名称)

特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンター

## 1 事業実施の成果

中間支援センター職員のスキルアップ支援を当初計画どおり実施できた。

データベースソフトウエアの提供は継続しており、業務も円滑に進んでいる。

NPO 法人と中間支援センター職員に給与計算ソフト指導や会計ソフトバージョンアップ版の支援を行った。

県域中間支援センターコーディネータースキルアップ、データベース活用の業務効率化には一定の成果をあげることができた。

NPO 法人の ICT 活用セミナーに参加し、情報発信機能強化について、調査研究を行った。

非営利組織運営を効率化できるツールについては調査を継続していく必要性が明確となった。

また調査で得た情報やツールを団体に提供していく基盤づくりとなった。

地球市民交流館の移転においては、理事の物件をつなぐことができた。

環境系の団体の事業展開につながっている。

群馬県共同募金会の検討会議に法人として参加し、組織評価について見識を深めることができた。

法人の基盤強化に役立つような事業展開につなげていくことが可能となる見込み。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
ソフトウェア導入環境整備支援事業	<p>県域中間支援センターにクラウド型データベースソフトウェア導入および環境整備を支援した。</p> <p>給与ソフト導入指導</p> <p>会計ソフト指導</p> <p>ICTサービス自慢大会応募。不採択。</p> <p>NPO向けITソリューション展視察</p>	H30.4より	県域中間支援センター内	5	5
		H31.1.22	NPO・ボランティアサロンぐんま	1	2
		通年		1	2
		4/6	都内	2	
		4/24	都内	1	
NPO法人支援者育成事業	<p>1. シニアによるシニアのためのLine cafeの開催。</p> <p>NPO法人届け出業務体験</p> <p>会議参加</p> <p>群馬県共同募金会助成金検討会議</p>	H31.1.20	地球市民交流館	3	4
		年度末から年度初め		1	
		5/28	新前橋	1	1
		6/28 8/28 1/16 2/5	総合福祉センター		
市民活動支援	地球市民交流館移転のコーディネート	秋	地球市民交流館	2	1

## 3 会議の開催に関する事項

(1) 総会 平成30年4月1日(土) 11:00~12:00

(2) 理事会 平成30年4月1日(土) 10:00~11:00

事業の詳細 1

事業名	ソフトウェア導入環境整備支援事業
実施概要	<p>県域中間支援センターに salesforce 継続活用環境を提供。          給与ソフト、会計ソフト支援。</p> <p>ICTサービス自慢大会応募。不採択。          NPO向けITソリューション展視察</p>
成果	<p>Salesforce は支援センターの相談、セミナー参加者等の入力利用継続している。          同アプリのバージョンアップ情報を提供し、対応はセンター職員に任ることができた。</p> <p>NPO 法人、センター職員に自動転記機能のある会計ソフトを提供しながら、ソフト改善を行うことができた。</p> <p>センター職員に給与ソフト指導を開始した。</p> <p>県域中間支援センターコーディネータースキルアップ、データベース活用の業務効率化には一定の成果をあげることができた。</p> <p>ICT サービス自慢大会応募したが、不採択となってしまった。</p> <p>NPO向けITソリューション展視察では、①「ホームページ・ブログ作成サービス」で支援者を増やすこと、②「会費・寄付金集金」をHPや会員等の情報管理ソフトと連動させたシステム化を構築についての情報を得ることができた。非営利組織運営を効率化できるツールについては調査を継続していく必要性が明確となった。調査で得た情報やツールを団体に提供していく基盤づくりとなった。</p>
課題	<p>IT ソリューションのシステム化については、継続的な調査研究が必要。          給与ソフトについては、当初予定していたフリーソフトが制限付きの無料版となっていたため、別のソフトも研究中。本年度継続的に支援を予定している。</p>
備考	



事業の詳細 2

事業名	NPO 法人支援者育成事業
実施概要	<p>1. 草の根活動体験としての「シニアによるシニアのためのLinecafe」を実施した。</p> <p>H31.1.20 地球市民交流館2階 5名参加 支援者2名 合計7名</p>  <p>2. NPO法人の届け出業務をセンタースタッフに体験してもらった。</p>
成果	<p>NPO 法人の届け出業務の一連の流れを体得してもらうことができた。</p> <p>体験を通じ、NPO 法人からの相談に対応できるようになった。</p>
課題	<p>年一度の業務については、記憶が薄れてしまうことが懸念される。</p>
備考	



## 活動計算書

2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
<b>1. 受取会費</b>		
正会員受取会費	36,000	
賛助会員受取会費	3,000	39,000
<b>2. 受取寄付金</b>		
受取寄付金	10,000	
資産受贈益	0	
施設等受入評価益	0	10,000
<b>3. 受取助成金等</b>		
受取民間助成金	0	
受取公的助成金	0	0
<b>4. 事業収益</b>		
A事業収益	0	
B事業収益	0	
	0	0
<b>5. その他収益</b>		
受取利息	0	
雑収益(均等割還付金)	74,600	74,600
<b>経常収益計</b>		123,600
<b>II 経常費用</b>		
<b>1. 事業費</b>		
(1) 人件費		
給与手当	0	
福利厚生費	0	
<b>人件費計</b>	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	140	
賃借料	0	
諸会費	0	
諸謝金	0	
旅費交通費	4,053	
消耗品費	0	
地代家賃	0	
通信運搬費	0	
支払手数料	0	
	0	
	0	
<b>その他経費計</b>	4,193	
<b>事業費計</b>		4,193
<b>2. 管理費</b>		
(1) 人件費		
給与手当	0	
法定福利費	0	
<b>人件費計</b>	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	1,200	
諸謝金	5,000	
租税公課	74,600	
地代家賃	3,000	
賃借料	200	
雑費	600	
	0	
	0	
	0	
<b>その他経費計</b>	84,600	
<b>管理費計</b>		84,600
<b>経常費用計</b>		88,793
<b>当期正味財産増減額</b>		34,807
<b>前期繰越正味財産額</b>		89,435
<b>次期繰越正味財産額</b>		124,242

### 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

法人名： 特定非営利活動法人 市民立ぐんまNPOセンター

## 貸借対照表

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	124,242		
流動資産合計		124,242	
2. 固定資産			
土地建物			
固定資産合計		0	
<b>資産合計</b>			124,242
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
<b>負債合計</b>			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		89,435	
当期正味財産増減額		34,807	
<b>正味財産合計</b>			124,242
<b>負債及び正味財産合計</b>			124,242

法人名： 特定非営利活動法人 市民立ぐんまNPOセンター

## 財産目録

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	2,642		
群馬銀行	121,600		
ゆう貯銀行	0		
	0		
<b>流動資産合計</b>		124,242	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
<b>資産合計</b>			124,242
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
<b>負債合計</b>			0
<b>正味財産</b>			124,242

## 監査報告書

2019年 4月 6日

特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンター  
代表理事 草場 史子 様

監事 田中 一雄

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンターの2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行いました。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会への出席及び電磁的連絡の場において必要と認める場合には質問を行いました。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務執行は法令、定款及び2018年度の事業計画に基づき適正に執行され、会計処理はNPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）に準拠して適正に処理されているものと認められました。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンターの2019年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況、及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認められました。

以上